

CASBEE 広島 2016年版
子ども療育センター及び広島市児童相談所

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.7
Q1 室内環境							0.40		-	3.3
1 音環境						3.3	0.15	2.9	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル		宿泊部分:35~40dB				3.0	0.40	4.0	0.40	
1.2 遮音						3.8	0.40	2.9	0.40	
1 開口部遮音性能		外部アルミ製建具に遮音性能T-2を使用				5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.60	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						5.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						5.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						2.8	0.35	3.4	1.00	2.8
2.1 室温制御						3.5	0.50	3.8	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		外壁その他熱貫流率1.0以下、ガラス熱貫流率3.0程度				5.0	0.25	5.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.9	0.25	3.5	1.00	3.0
3.1 昼光利用						1.8	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		宿泊部分昼光率:4.34				1.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御						2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		全般照明で照度500Lx以上1000Lx未満				4.0	0.15	4.0	0.15	
3.4 照明制御		1作業単位で照明制御が可能				5.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境						4.4	0.25	4.2	1.00	4.3
4.1 発生源対策						5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		内装・天井裏面積の90%以上にF☆☆☆☆を採用				5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		施設全体の禁煙				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.5
1 機能性						3.7	0.40	3.4	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観		宿泊部分の天井高さ:2.5m				3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						2.0	-	-	-	
3 内装計画		内装コンセプト作成、機能の明確化、照明計画				4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理						4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性のある内装仕上、埃溜まりなし、風除室扉間離隔確保等				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃用資材・廃棄物保管場所の確保、共用部での維持管理作業等				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.5	0.30	-	-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		重要度係数1.25				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数20年以上の内装材を使用(ビニル床シート、ビニルクロス張等)				4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外はSUS製、湿度が高い系統は塩ビ鋼板製を使用				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		塩ビ管やSUS配管を使用				4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		節水型洗浄弁を使用や災害時の対応を確保				5.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		通信手段の多様化を図っている。				4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.3	0.30	3.2	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	3.4	0.50	
1	階高のゆとり	階高3.7m以上	4.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 建物全体:0.21 宿泊部分:0.28	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	専用のEPSを設置	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	専用のEPSを設置	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.5
1 生物環境の保全と創出			4.0	0.30		-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30		-	4.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			5.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			4.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの高効率化			2.4	0.50		-	2.4
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			3.0	-		-	
4.1	モニタリング		3.0	-		-	
4.2	運用管理体制		3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.1	0.60		-	4.1
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤	不活性消火剤(窒素)を使用	4.0	0.33		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		-	
3	冷媒		2.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	雨水流出抑制計画書の提出	4.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	利用しやすい位置に駐輪場を計画、管理用サービスヤードを計画	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		4.0	-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ガイドラインチェックリストによる	5.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	